



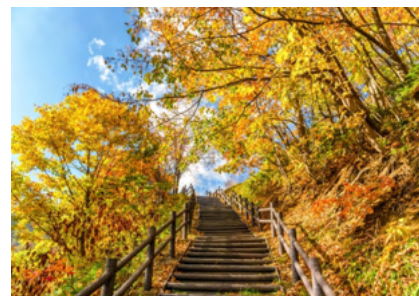
第358号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

時の揺らぎに 安らぐ心

小さなゆとり

ほんの少しの「贅沢」
いつもの朝は時間の許す限りギリギリまで寝て、残された時間の中で身支度を整え、おにぎりなど簡単なもので朝食を済ませて仕事に向かう慌ただしいルーティン。
そんな中で少し早く目を覚ました時に、ちゃんと時間をかけて作った朝食を食べた後に、コーヒーを淹れて過ごすゆっくりとした時間が、ささやかな「贅沢」に感じられます。

お金をかける「贅沢」ではなく、時間をかける「贅沢」
そんなひとときが気持ちにゆとりを持たせてくれるような気がします。
本なら毎日それくらい余裕を持って過ごしたいものですが、今のところはたまの贅沢。「たまの」だから「贅沢」と感じられるのかもしれない。
例えば学生の頃など、若い頃はいつも時間的にギリギリの毎日。毎朝支



度をするのに最低限の時間だけを残して寝られるだけ寝て、その支度もやはり最低限。
クタクタのスーツを着て、申し訳程度に磨いた靴を履いて、朝食も摂らずにバタバタと家を出て行った頃は、そんなゆとりを感じられることも知らなかったように思います。

前の日にスーツの手入れをしたり、しっかりと

日常に少しづつ「いつもの」を増やしていくのが心地いい。近所のパン屋さんで選ぶ「いつもの」クロワッサンだったり、毎日持ち歩くリップクリームだったり。そんな「いつもの」が増えるたび、日常が自分らしい形になっていく気がする。たまには冒険してみたくなくて、他のものを試すこ

ともある。カフェで新しいメニューを頼んでみたり、ちょっと遠くの公園に行ってみたり。そこで「こ

もまた楽しい。そうやって、少しずつ自分の中の「いつもの」を見つけていく。それは日々の安心感になるだけじゃなく、変化が訪れたときにも戻れる場所を教え

もどきな性格を少し整えるような「贅沢」
そう自分に言い聞かせるように。

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて下さい。方法は事務局宛でのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報をお返しいたして頂きます。いつも、事務局へのお手紙ありがとうございます！ご要望等もお気軽にお送りください。

戻れる場所

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送る方は簡単♪下の風船便切手宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書きだす。事務信同の筒さで流す。宛封下まで交り

次回発送日
12月の発送日は9日、23日の予定です。送りたいお手紙がある場合にはそれぞれ3日前（6日、20日）までに事務局に到着するようお送りください。

お知らせ

★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて下さい。方法は事務局宛でのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報をお返しいたして頂きます。いつも、事務局へのお手紙ありがとうございます！ご要望等もお気軽にお送りください。

